



市職労ニュース

発行 明石市職員労働組合

2012年3月7日

29分スト中止！ 春闘の統一指標を確認

自治労は、本日、全国統一の29分ストを配置し、2012春闘にかかる対自治体闘争を進めてきた。

市職労も、要求書を提出し、自治労の統一行動指標に基づき協議を進め、以下の回答を得た。

これを中央委員会でも報告・協議を行い、本日の統一行動の中止を決定した。

①年間を通じた基本的な労使関係のルールを確立すること。

国家公務員への団体協約締結権の付与等に係る法改

正の動きを注視しつつ、労使交渉等については、今後とも引き続き、適正な対応に努める。また、事前協議に関する協定の締結に向け、すみやかに協議を行う。

②生活向上のために賃金水準の維持・改善に努めること。

継続協議となっている給与のさらなる適正化について、十分な協議を進めている。

③臨時・非常勤等職員の処遇改善に努めること。

順次、法令等に基づく任

期付短時間勤務職員への切り替えを進めており、より安定した雇用の確保や勤務条件面の改善を図っている。

また、任期付短時間勤務職員への切り替えが困難な職場・職種については、来年度から新たな臨時的任用制度を導入していく予定である。

④公共サービス基本条例・公契約条例・入札制度改革など公共サービス基本法ののつとめた施策を推進し、公共民間・中小の労働条件の底上げをはかること。

公契約条例の制定については、今後とも国や他の自治体の動向を見極めながら、引き続き、慎重に検討していく。

⑤男女平等社会実現を踏まえたワーク・ライフ・バランスの具体化をはかること。

特定事業主行動計画の周知徹底を図るとともに、今後にも必要な見直しを適宜行う。また、引き続き、仕事と家庭の両立支援に向けて取り組んでいく。